

基本目標	望ましい街の姿（基本目標レベルで目指す将来像）	重点戦略課題
元気な経済が生まれ、 安心して働ける街さっぽろ	<p>多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民や NPO は、積極的に起業に挑戦しています。また、本市の様々な資源を生かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活気に満ちています。働く側にとっても、多様な就労の機会が充実しています。</p> <p>また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れるとともに、数々のコンベンションが開催され、様々な地域の人々や産業、文化が交流することにより、まちは活気に満ちています。</p>	<p>中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援</p> <p>安心して働ける環境づくり</p> <p>協働による観光振興とコンベンション事業の推進</p> <p>さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出</p> <p>アジアの産業ネットワークの拡大</p>
健やかに暮らせる 共生の街さっぽろ	<p>高齢者、障がいのある人、子育て家庭など誰もがお互いを理解し、尊重し合いながら、地域の中でふれあい、支えあって生きいきと健康に暮らしています。</p> <p>地域の交流や支えあいを通じて、人と人とのネットワークが核となって、様々な分野に市民活動の輪が広がり、課題の解決や目標の実現に向けて、個性豊かな地域づくりが進められています。</p>	<p>魅力あふれる地域づくりの推進</p> <p>少子化対策の推進</p> <p>地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進</p> <p>地域での健康づくりの推進</p>
世界に誇れる 環境の街さっぽろ	<p>多雪寒冷な気候がもたらす北国らしい明瞭な四季を通じて、ゆたかなみどりや水辺、雪など変化にとんだ自然環境を身近に楽しむことができます。</p> <p>都心部や地域の中心などでは、都市機能がコンパクトに集積し、エネルギー利用効率や公共交通の利便性に優れ、誰もが大都市ならではの快適な生活を送ることができます。</p> <p>都市の環境を守り、将来の世代に良好な環境を継承するため、市民一人ひとりが資源やエネルギーをできる限り使わない、ごみを発生させないといったことを基本とする生活が定着しています。</p>	<p>水とみどりのうおいと安らぎのある街の実現</p> <p>地球環境問題への対応と循環型社会の構築</p> <p>ゆたかな冬の暮らしの実現</p> <p>歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造</p>
芸術・文化、スポーツを 発信する街さっぽろ	<p>誰もが気軽に参加できる文化活動が街のいたるところで行われているとともに、市民のライフスタイルや多様なスポーツ活動に応えることのできる環境づくりが進み、文化、スポーツを身近なものとして感じるすることができます。</p> <p>札幌ならではの質の高い芸術や伝統文化に触れる機会が充実するとともに、スポーツにおける札幌ブランドが高まり、札幌の街の個性として独自の文化を育てています。</p> <p>芸術・文化やスポーツの魅力あふれる札幌の都市文化を世界に向けて発信し、国内外の人たちとの交流を深めています。</p>	<p>芸術・文化の薫る街の実現</p> <p>スポーツの魅力あふれる街の実現</p>
ゆたかな心と創造性あふれる 人を育む街さっぽろ	<p>子どもたちは、地域社会の中で温かく見守られながら、夢や目標の実現に向かって、学習やスポーツに生き生きと取り組むとともに、社会の一員として、家族や友人と一緒にボランティアや地域活動にも積極的に参加しています。</p> <p>市民のだれもが、それぞれのライフステージで積極的に学び、ゆたかな人間性や創造性を培い、学んだ成果を様々な機会に発揮するとともに、自分の可能性に挑戦し海外でも活躍するなど、人生に生きがいや楽しさを感じながら暮らしています。</p>	<p>自立した市民に育てる教育の推進</p> <p>さっぽろを支え、発信する人づくり</p>

**基本目標：世界に誇れる環境の街さっぼろ**  
**重点戦略課題：水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現**

市の素案

**(仮称)戦略目標** (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

ゆたかなみどりや水辺が守られ、自然や動植物と身近でふれあうことにより、日常生活や余暇活動など様々な場面でうるおいと安らぎを感じることができます。

**現状と課題**

多くの市民が愛する自然と調和した都市イメージ  
 都市化の進展による水環境の悪化  
 人が近づきにくく地域住民の関心が薄れた河川  
 市街地内のみどりの減少と地域間格差の顕在化  
 みどりの多様な役割に対する期待の高まり

**各主体の主な役割** ((仮称)戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民

- ・ 庭など身近な場所の緑化
- ・ 水とみどりを守り育てる活動への参加 など

企業等

- ・ 企業の所有地などの緑化
- ・ 事業活動にあたって水やみどりの保全等への配慮
- ・ 地域における水とみどりに関する社会活動への参加 など

NPO等

- ・ 水とみどりの保全・創出活動
- ・ 水とみどりの保全・創出に関する活動のネットワークを形成 など

行政

- ・ 公共施設などにおける水とみどりの保全・創出
- ・ 情報収集とわかりやすい情報発信
- ・ 水とみどりに親しむ機会や場の充実 など

**施策の基本方針**

人間活動による負荷を低減し、良好な水環境の維持・回復を図る  
 水辺を保全し、せせらぎを回復する  
 ゆたかなみどりを30%増やすことを目指して、街のみどりのボリュームアップを図る



**施策**

- <水やみどりを楽しむ心の醸成>  
 みどりに親しむための活動拠点の充実  
 水、みどりや生物の生息状況に関する情報の収集・発信
- <水辺の保全・創出>  
 河川などの水辺の良好な水質の確保  
 枯渇した河川への水の流れの回復  
 自然と人がふれあえる水辺の保全・創出
- <みどりの保全・創出>  
 多様な制度を活用した都市の近郊や街中のみどりの保全  
 市民による公園緑地の保全・育成活動の推進
- <みどりのボリュームアップとネットワーク化>  
 都心部、特にみどりの少ない地区、環状グリーンベルトなどにおける重点的な緑化  
 公共施設や民有施設のみどりを増やすしくみづくり

分科会での主な議論

都心のみどりや水辺を再生するための活動を進める(まちなかで緑の再生を協働で取り組む、校庭を利用して植樹)  
 魅力的な緑や建築物のガイドラインの検討が必要(緑の量や効果的配置の問題、公園緑地と緑ネットワーク化を図り季節感を形成)  
 公園や道路などの多面的活用に関する規制緩和(大通公園で歩くスキー、地下通路にカフェ・屋台・ワゴン)  
 公園などの管理運営を住民やNPOが行うモデル事業を展開(イベント企画へ市民団体が関る、ボランティアを活用した図書館の開館時間の延長) など

**基本目標：世界に誇れる環境の街さっぽろ**  
**重点戦略課題：地球環境問題への対応と循環型社会の構築**

市の素案

**(仮称)戦略目標** (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

一人ひとりが地球環境問題を正しく理解して、これまでの市民生活や企業活動を見直し、自覚をもって環境にやさしい消費行動や自動車利用などに取り組んだり、ごみの減量やリサイクルに努めるなど、市民が自発的に地球温暖化の防止や省資源、省エネルギーのための環境行動を創造・実践した生活をしています。

**現状と課題**

さまざまな環境問題を引き起こす大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会活動  
 都市を持続的に発展させ、良好な環境を将来世代へ継承する責務  
 民生部門の割合が高い札幌のCO2排出状況と低い危機意識  
 環境への負荷が大きく、多額の費用がかかるごみ処理と難しいごみ埋立地の確保

**各主体の主な役割** ((仮称)戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民

- ・ 環境に配慮した消費行動や自動車利用
- ・ 環境保全活動への積極的な参加
- ・ ごみの排出ルールの遵守、ごみの減量化 など

企業等

- ・ 省エネ設備や低公害車等の導入・利用
- ・ 環境マネジメントシステム等の導入
- ・ 拡大生産者責任の取り組み実施とごみの減量化 など

町内会・NPO等

- ・ 環境保全活動の模範的実践、拡充
- ・ 環境問題に関する普及啓発
- ・ 資源回収などごみの減量化 など

行政

- ・ 市民の環境意識の醸成と環境行動の喚起
- ・ 環境保全についての率先実行
- ・ ごみの発生抑制のしくみづくりと適正な処理 など

**施策の基本方針**

行政・市民・事業者が一体となってCO2排出量10%削減を目指した取り組みを推進する  
 市民の日常生活のなかに環境行動のムーブメントを喚起する  
 行政の率先的な環境行動を推進し、その成果を波及させる取り組みを推進する  
 ごみの発生抑制、再利用、リサイクルを推進するとともに、環境に配慮したごみ処理を徹底する

**施策**

- <環境意識の醸成と行動の喚起>  
 環境行動に結びつく環境教育や情報提供の推進  
 市民の環境行動を加速させる広報、活動指標の提供などの取り組み
- <行政の率先行動と市民・事業者などへの波及>  
 環境マネジメントシステムの運用管理の徹底や公共施設の長寿命化  
 省エネルギーの計画的な推進と新エネルギー導入に向けた取り組みの推進  
 行政の取り組み成果の市民、事業者への普及促進
- <ごみの発生抑制のしくみづくり>  
 ごみの発生抑制やリサイクルなどに係る普及啓発拠点機能の充実  
 ごみの発生抑制などに係る実践活動の支援  
 市民・事業者との協働による多様なリサイクルルートの確保  
 経済的手法を含めた効果的なごみ発生抑制のしくみづくりの検討
- <環境に配慮したごみ処理体制の確立>  
 ごみ処理施設への搬入指導の徹底やリサイクルの推進  
 事業系ごみの排出事業者処理責任の徹底

分科会での主な議論

CO2排出を削減するまちづくり(コジェネレーションシステムの推進, TDM)  
 廃棄物を削減する取組を進める(リサイクルの推進, 街路樹の落ち葉やプラスチックなどの廃棄物からのエネルギー回収, イベントにおけるごみ分別ナビゲーション活動の実施 など)  
 省エネルギーの推進と新エネルギーの活用を促進(太陽エネルギーの活用, エネルギーの回収)  
 歩行者・自転車・公共交通優先の交通体系やシステム(まちなかでの自動車利用の制限, LRTの導入検討, 自転車ロードや駐輪場などの整備, レンタサイクルの実施) など

**基本目標：世界に誇れる環境の街さっぽろ**  
**重点戦略課題：ゆたかな冬の暮らしの実現**

市の素案

**(仮称)戦略目標**

(各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)

多雪寒冷の厳しい気候条件の中でも、冬の遊びやスポーツ、雪まつりなどのイベントを気軽に楽しむなど、雪を生かした個性と魅力あふれる北方の拠点都市札幌における文化が形成されています。

**現状と課題**

世界でも屈指の多雪・寒冷の大都市である札幌  
 個性的な市民文化が育まれる一方で、エネルギー消費などの都市課題を生む多雪・寒冷な気候特性  
 冬場の戸外遊びの減少や、ウィンタースポーツ離れ  
 除雪への高い市民要望と財政的な制約

**各主体の主な役割**

((仮称)戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)

市民

- ・ 冬の遊びやスポーツ、イベントの実践
- ・ 冬期間の生活ルールを理解と遵守
- ・ 協働による雪対策への参加 など

企業等

- ・ 協働による雪対策への参加
- ・ 北国・雪国にふさわしい技術や製品の開発 など

町内会・NPO等

- ・ 冬の遊びやスポーツ活動の推進や普及啓発
- ・ 協働による雪対策への参加 など

行政

- ・ 冬の遊びやスポーツ活動、イベントに対する支援
- ・ 雪など自然エネルギーの活用
- ・ 効率的・効果的な雪対策の推進 など

**施策の基本方針**

市民が雪に親しみ、楽しむ機会を大切にした北国らしい暮らしを創造する  
 雪を貴重な資源という視点で見直し、上手に活用する取り組みを推進する  
 市民・企業・行政が協力しあいながら、地域特性に応じた雪対策を推進する

**施策**

- <北国らしい暮らしの創造>  
 冬場の公園利用の拡充に向けた取り組み  
 冬の遊びを促進する市民活動や指導者の発掘・活用  
 北方圏の都市などとの国際交流を通じた快適な冬の暮らしに係る知識や技術の共有
- <ウィンタースポーツの推進>  
 ウィンタースポーツの調査研究の推進  
 ウィンタースポーツへの関心の喚起
- <多雪・寒冷な気候特性の活用>  
 雪を貴重な資源として見直す取り組みの推進  
 市民が楽しむ冬を国内外に発信して集客交流を促進
- <地域特性に応じた効率的・効果的な雪対策の推進>  
 地域の特性に応じた除排雪の推進と歩行環境の改善  
 パートナーシップ排雪や市民・企業の雪対策活動に対する支援の充実  
 福祉除雪の推進

分科会での主な議論

- 北方型のまちづくり
- ・ 雪や寒さに強いまちづくり
  - ・ 雪や寒さに親しみ、楽しみ、活用する、生活文化や都市環境づくりを提案する
  - ・ 利雪・親雪で地域の総合的活性化の促進
  - ・ 冬期間の歩行者空間の安全性の確保を図る
- 省エネルギー型の雪対策 など

**基本目標：世界に誇れる環境の街さっぼろ**  
**重点戦略課題：歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造**

市の素案

**(仮称)戦略目標 (各重点戦略課題レベルで目指すより身近な将来像)**

多くの人が集まる都心や地域の中心などでは、市民が徒歩や自転車で安心して快適に生活することができます。また市民の移動を支える公共交通機関は、環境にやさしく誰もが利用しやすい乗り物として市民生活に定着しています。

**現状と課題**

持続可能なコンパクトシティへの再構築  
 減少が続いている公共交通の利用  
 多様な課題を抱える交通の要所(交通結節点)などの地域の中心となる拠点  
 生活の質を高める多様な選択が求められる都心  
 都心部の交通混雑と環境への影響

**施策の基本方針**

公共交通機関を軸とした環境に負荷をかけない交通体系を確立する  
 交通の要所(交通結節点)に視点をいたまちづくりを推進する  
 人と環境を重視した都心の再生を推進する



**施策**

- <環境に負荷をかけない公共交通の利用促進>  
 駅のバリアフリー化の推進や利用しやすい料金制度の検討など公共交通の利便性向上に向けた取り組み
- <交通の要所(交通結節点)のまちづくり>  
 地域の課題や住民活動などを踏まえた総合的なまちづくりの推進  
 歩道のバリアフリー化や自転車の走行環境整備に向けた取り組み  
 公共交通機関の乗り継ぎを向上させる施設の整備
- <都心の再生>  
 都心における魅力的な歩行空間や親水空間の創出  
 民間の都市開発やまちづくり活動への支援  
 都心の通過交通低減など適正な自動車利用の実現に向けた取り組み  
 道路空間の再配分による交通問題解消に向けた取り組み

**各主体の主な役割 ((仮称)戦略目標を実現するために市民、企業、行政など各主体にはどんな役割が期待されるか)**

市民

- ・ 環境に配慮した適切な交通手段の選択と行動
- ・ まちづくり活動への参加 など

企業等

- ・ 企業活動における公共交通利用
- ・ 公共交通の利便性向上(交通事業者)
- ・ まちづくり指針に即した事業展開 など

NPO等

- ・ 交通に関する提言や実験などの活動
- ・ まちづくりについての提言
- ・ まちづくり活動の企画・運営 など

行政

- ・ 公共交通が利用しやすい環境の整備
- ・ 交通事業者への支援
- ・ 都心再生を先導する基幹的な都市基盤整備 など

**分科会での主な議論**

魅力的な都心のまちづくり(公共空間をにぎわい創出や国際的集客交流の場として活用、廃校を市民活動の場として活用、駅前通を歩いて楽しい空間として再整備、都心居住の環境整備)  
 まちなみの景観に配慮した風格あるまちづくり(古い建物・まちなみ・文化の保存と活用、広告・看板類の整理、総合的なサインなどの計画、無電柱化の推進、魅力的な緑や建築物のガイドラインの検討)  
 歩行者・自転車・公共交通優先の交通体系やシステム(まちなかでの自動車利用の制限、LRTの導入検討、自転車ロードや駐輪場などの整備、レンタサイクルの実施)  
 コンパクトシティ実現に向けた本格的な議論  
 安全・安心な居住環境づくり(ライフサイクルに応じた住替えを支援するシステム、バリアフリー化の推進)  
 地域の中心や拠点機能の向上(高次都市機能拠点、広域交流拠点や地域中心核の育成・整備)  
 市民の公共的意識や活動の活性化(連絡所や学校施設を地域のまちづくり活動の場として活用)  
 まちづくりの人材育成と活用(まちづくりやまち育て活動の実践を通じた人材育成、まちづくり読本)など

**成果指標**

成果指標とは

まちづくり計画に掲げる政策目標の実現に向けて、具体的な目標となる項目を定め、その目指すべき水準について数値などを用いて定量的にわかりやすく示すとともに、政策・施策の成果を把握していくための指標。

新まちづくり計画での位置付け

基本目標に掲げる「望ましい街の姿」の実現に向けて、まちづくりを担う市民・企業・行政などの各主体が協働して、ともに目指していく数値目標。

より適切な指標の選定や定期的なデータの把握など、時間をかけて検証しなければならない課題があることから、今回は、試行として位置付けている。

指標は、できる限り、「成果指標（アウトカム指標）」を採用するが、データがとれないなど設定が困難な場合には、「活動指標（アウトプット指標）」で代替する。

指標の種類

- ・活動指標（アウトプット指標）…事業費や事業量など、具体的な活動量や活動実績を測る指標（例：道路の整備延長）
- ・成果指標（アウトカム指標）……施策や事業の実施により得られた成果を測る指標（例：交通渋滞の緩和）

指標項目選定の基本的な考え方

重点戦略課題ごとに2～5の指標を設定。（全体で50余の項目）

市民にわかりやすい指標項目を基本とするが、データ把握の可否なども踏まえて選定。

目標値設定の基本的な考え方

既に部門別計画などで目標値が定められているものについては、その考え方との整合性を図る。

新たに設定する指標については、指標の現状値や過去の推移、全国の状況などを勘案して目標を設定。

指標項目	現状値	目標値	備考
	(年度)	(年度)	
河川（環境基準点）の水質目標値の達成率	80%	100%	河川水の有機物による汚濁を示す指標であるBODについて、すべての環境基準点での達成を目指す
	(H14)	(H18)	
多自然型河川の整備延長	8.2km	11km	特に水辺へのアクセスや既存樹木保存などに配慮した河川の整備延長を伸ばす（札幌市管理分）
	(H14)	(H18)	
札幌が好きな理由として「緑が多く自然が豊かだから」を挙げた人の割合	33.2%	40%	過去10年間での最高値（H5：37.3%）を上回る
	(H14)	(H18)	
市民の省エネ・省資源行動指標	-	10万人	省エネ・省資源を実践する市民の登録制度を設け、登録者数の増を目指す
	(H14)	(H18)	
廃棄ごみ量	1%削減	10%削減	平成10年度対比で10%削減する
	(H14)	(H18)	
冬期間の来客数	431万人	490万人	11月～3月に札幌を訪れる観光客数の増を目指す
	(H14)	(H18)	
ウインタースポーツ（冬期ジャンプ大会）の観客数	5.3万人	6万人	過去の傾向を上回る観客数の増を目指す
	(H14)	(H18)	
市民の協力による歩道への滑り止め材の散布	36%	50%	市内で使用する量の半分を市民の協力を得て散布することを目指す
	(H14)	(H18)	
歩道のバリアフリー化の状況	14%	90%	駅を中心としたバリアフリー化の必要性が高い地区（重点整備地区）において、歩道のバリアフリー化を進める
	(H14)	(H18)	
駅のバリアフリー化の状況	59%	70%	地下鉄とJRをあわせた75駅のバリアフリー化を進める
	(H14)	(H18)	
「街に活気がある」と感じる人の割合	6.8%	10%	札幌が好きな理由として、「街に活気があるから」を挙げた人の割合の下落傾向を増加に転じる
	(H14)	(H18)	

廃棄ごみ：家庭や事業所から排出されるごみのうち、リサイクルされないどうしても焼却・埋立処分せざるを得ないごみ。